

日本全国 能楽キャラバン京都 金剛能楽堂公演 Vol.2

— 京都能楽紀行 伏見稲荷大社 —

令和4年9月3日 **土** 午後1時30分開演 (午後12時30分開場)
於 金剛能楽堂



小鍛冶白頭

— KOKAJI —



チケット料金 (全席自由席)

一般	5,000円
学生	3,000円

お申込み・お問い合わせ



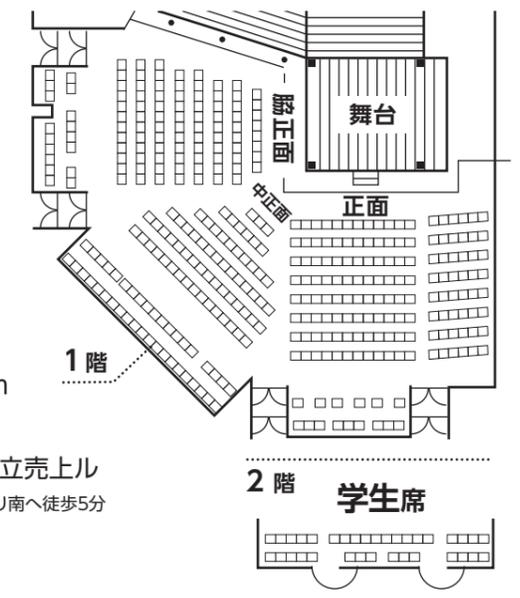
☎ 075-441-7222
FAX 075-451-1008
<http://www.kongou-net.com>



アクセス
〒602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上ル
■市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車、6番出口より南へ徒歩5分
■市バス「烏丸今出川」停留所より南へ徒歩5分
※駐車場はございませんので、京都御苑の一般有料駐車場をご利用ください。

日本全国 能楽キャラバン京都 金剛能楽堂公演 Vol.2

— 京都能楽紀行 伏見稲荷大社 —



いあい

謹啓

平素より金剛流能楽公演にご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

この度は文化庁の「統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）」による助成を昨年度に引き続き頂戴し、京都3公演、山形公演（米沢）、愛媛公演（松前）、長崎公演（島原）と、古来より金剛流に大変所縁の深い各地で合計6公演を開催する運びとなりました。このような大変得がたい機会をいただきましたことを、心より厚く御礼申し上げます。

金剛流といたしましては、「文化庁アートキャラバン事業」のテーマに則り、文化芸術の質の向上を目指し、文化芸術の重要性や魅力を積極的に発信することで、新型コロナウイルスの感染拡大による萎縮状況を乗り越え、文化芸術に対する需要喚起や業界全体の活性化を図って参ります。歴史や文化芸術の振興をより一層推進するべく、地元文化人の皆様をゲストにお招きし、見応えのある演目と共に、アカデミックな内容にてお届けして参りたいと存じます。

今回はゲストに伏見稲荷大社の舟橋雅美宮司をお招きし、伏見稲荷大社と能「小鍛冶」に纏わる様々なお話をお伺いいたします。

一日も早く平穏な日々を取り戻せますこと、そして各地域の益々の発展を祈念しつつ、流儀一丸となつて舞台を勤めさせていただき所存です。

皆様のご高覧を、心よりお待ち申し上げます。

謹白

令和四年七月吉日

能楽金剛流二十六世宗家 金剛永謹

日本全国能楽キャラバン京都

金剛能楽堂公演 Vol.2

令和4年9月3日(土) 午後1時30分開演
於 金剛能楽堂

ばんぐみ

京都能楽紀行 伏見稲荷大社

舞囃子

東北

シテ 廣田 幸稔
 笛 野口 杏海
 小鼓 久田 正壽
 大鼓 谷口 正壽

地謡
 中村 洋臣
 宇高 竜成
 今井 清隆
 豊嶋 晃嗣
 山田 伊純

対談

伏見稲荷大社宮司 舟橋 雅美
 能楽金剛流二十六世宗家 金剛 永謹

休憩

能 小鍛冶

白頭

シテ(老翁・稲荷明神) 種田 道一
 ワキ(三条宗近) 原 大
 ワキツレ(勅使) 橋下 宰
 間狂言(家人) 茂山 千之丞

笛 左 鴻 泰弘
 小鼓 吉 阪 一郎
 大鼓 石 井 保彦
 太鼓 井 上 敬介
 後見 廣 田 泰能
 今 井 克紀
 宇 高 徳成

地謡
 湯川 稜 和田 次夫
 山田 伊純 金剛 龍謹
 宇高 竜成 松野 恭憲
 惣明 貞助 豊嶋 晃嗣

(終演予定時刻 16時頃)

主催 公益財団法人 金剛能楽堂財団
 後援 古典の日推進委員会

「日本全国 能楽キャラバン!2022 金剛流公演」について

舞金剛と称されるにふさわしい演目を選び、京都並びに、金剛流とゆかりのある山形県米沢市、愛媛県松前町、長崎県島原市にて、計6公演を連続開催いたします。当日は、能楽師による解説や、上演曲と関わりの深いゲストからお話がございますので、初めて「能」を鑑賞される方も、謡を習っていらつしやる方も、様々な視点から舞台を楽しんでいただけるシリーズ公演となっております。

「東北」 あらすじ

澄み渡った月の下、東北院の軒端の梅の木陰に、在りし日の美しい姿で現れた和泉式部の霊は、和歌の徳や東北院の美しさを、袖をひるがえして優雅に謡い舞います。

金剛能楽堂から御所をはさんだ東北側に、かつてこの能の舞台である東北院がありました。早春の宵に御所を散策しますと、気品ある微かな香りが漂い、能「東北」の一節「春の夜の闇はあやなし梅の花、色こそ見えね香やは隠るる」が思い起こされます。

「小鍛冶 白頭」 あらすじ

一条天皇はある夜の夢に神のお告げを受け、橘道成を三条の小鍛冶宗近のもとに遣わし、御剣を打つように命じます。自分の技量に見合った相槌を打つ者がいないため、宗近は途方にくれますが、神力を頼みにするほかないと氏神の稲荷明神に参詣します。するとどこからともなく童子が現れ、天皇の恵みによって御剣は打つことができると予言し、中国における名剣の威力と恵みを述べ、また我が国においては、日本武尊が敵に四方を囲まれ火を放たれる窮地に陥ったとき、草薙の剣の威力によって火を返し、敵を焼き滅ぼした故事を仕方話に語り、「このたびあなたの打つ御剣は、その草薙の剣に劣らぬものになる。」と宗近を励まし、剣を打つ壇を飾って待つならば、私は姿を変え現れて力を添えようと言い、夕雲のかかった稲荷山に隠れてしまいます。(前半)

自宅に帰った宗近が、注連縄を張った壇をしつらえて祝詞を唱えようと、稲荷明神が狐の姿で現れ、宗近の相槌を打ち、打ち上げた剣を小狐丸と名づけて勅使に捧げ、また稲荷山に戻ります。(後半)

今回は「白頭」の小書(特殊演出)がつき、前半の童子が老翁に変わり、後半の稲荷明神の姿が白色に統一されます。大飛出の面の稲荷明神は、橋掛りをジグザグに稲荷山から狐足で下りてきて、足拍子を音を立てずに踏むなど、敏捷な狐の動きを模した演出になります。

日本全国 能楽キャラバン!2022 金剛流公演一覧

- 2022年 8月27日(土)午後1時開演 京都公演 金剛能楽堂 マエストロ佐渡裕氏を迎えて
- 2022年 9月3日(土)午後1時半開演 京都公演 金剛能楽堂 京都能楽紀行 伏見稲荷大社
- 2022年 10月30日(日)午後1時半開演 京都公演 東本願寺能舞台 金剛謹之輔100年祭
- 2022年 11月17日(木)午後6時開演 山形公演 米沢市 上杉家お抱え 金剛の能
- 2022年 1月9日(月)祝午後2時開演 愛媛公演 愛媛 松前総受化セゾー 新春を寿ぐ 舞金剛
- 2022年 1月22日(日)午後2時開演 長崎公演 島原文化会館 大ホール 島原に息づく能